

2025年4月

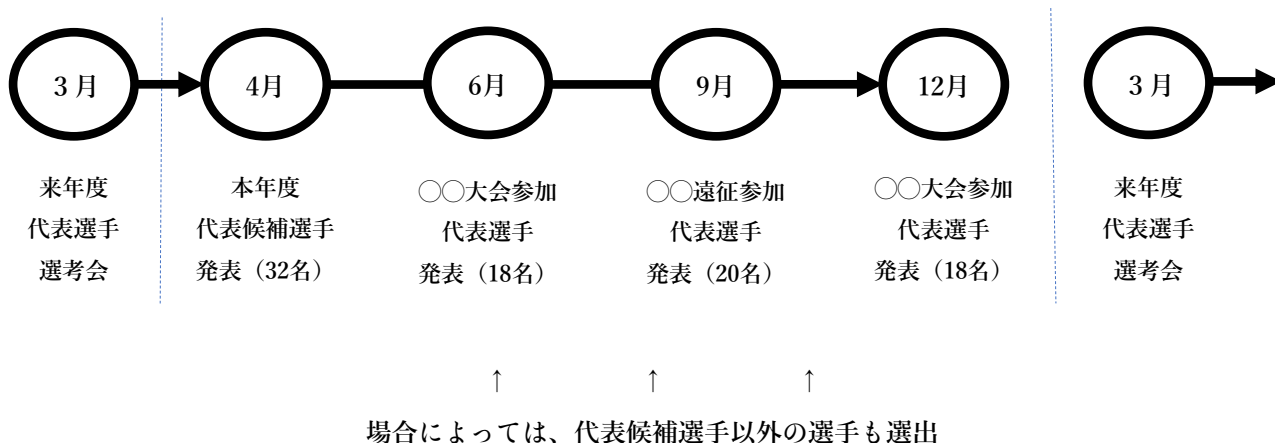
関係者の皆様

公益社団法人 日本ホッケー協会
強化育成本部

男女日本代表の代表選手選考方法の改定に関して

これまで、日本ホッケー協会では、日本代表選手選考方法に関して、所属チーム関係者の皆さま・選手・代表チームスタッフより、数多くの貴重なご意見を頂いてきました。そしてこの度、よりの確な日本代表選手の選考及び、より一層の日本代表チームの強化に向け、選手選考方法を下記の通り改定させていただきます。ご理解と、ご協力を賜れますよう、お願い申し上げます。

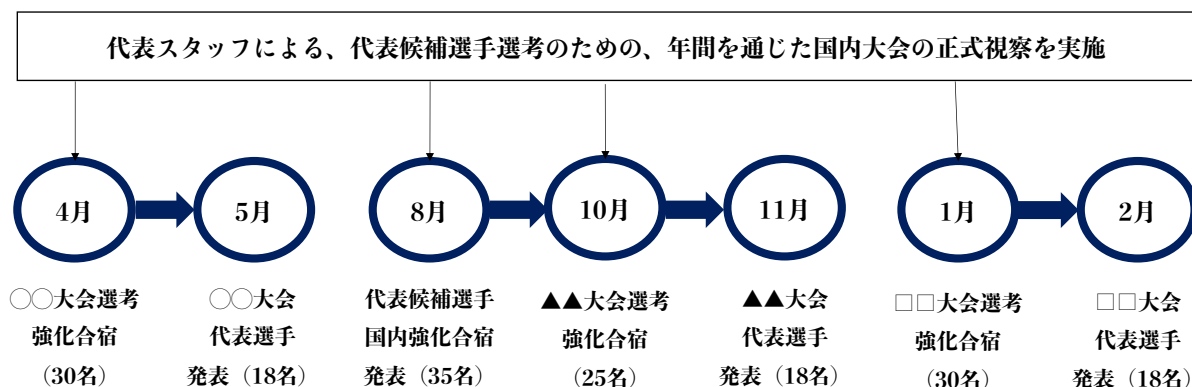
■これまでの選考方法の座組（例）



■これまでの選考方法の課題

- ・選考会の2～3日間のパフォーマンスで、選手評価を行っていた。
- ・代表候補選手に選出されたものの、代表活動に一度も呼ばれない選手が存在し、代表候補選手という位置付け、意味合いが不明瞭だった。
- ・代表選考会が1年に1度という中で、代表候補選手以外で、その後に伸びてきた選手や調子の良い選手を代表へ招集し辛い。また、招集した場合、代表候補選手やその所属先から不満が生じやすい仕組みだった。

■新選考方法の座組



他チームスポーツ競技では、一般的な選考方法

■新選考方法のメリット

- ・数ヶ月前の2～3日間の選考会での好不調や、これまでの実績だけではなく、日頃のパフォーマンスや直近のコンディションを踏まえた本質的な選考が行える。
- ・1年に1回の選考会落選で、チャンスが途絶えるのではなく、年間を通じた多くの機会の創出が可能で、選手のコンディションやモチベーションが継続できる。

■新選考方法実施に伴う留意点

① 代表チームスタッフによる視察

- ・主だった国内大会を代表スタッフが視察を行う。
HJL／全日本社会人／全日本選手権／国体
大学王座／インカレ／学生リーグ／インターハイ／U選考会等
- ・東西均等に、また視察チームが偏らないなどの設計を強化育成本部主導で行う。
- ・海外チーム所属選手は、海外チームスタッフとの対話や、ゲーム動画のチェック等を行う。

⇒代表スタッフの視察スケジュールは日本ホッケー協会 HP にて随時公開させていただきます。

② 推薦制度の設置

視察から漏れる選手がいる可能性があり、また選考会のような代表スタッフによる能動的チェックがない中で、より広く多くの選手の日本代表への可能性を開くため、所属先及び、選手自身での推薦が行える新制度を設置します。

- ・所属先責任者及び、選手が推薦調書を記入し、メールにて応募
- ・代表チームスタッフによる書類選考を実施
- ・書類選考を通過した場合は、個別視察の実施や国内合宿へトライアル選手として招待を行う
(トライアル選手の合宿参加は自費となります)

⇒推薦調書は日本ホッケー協会 HP に常時掲載し、推薦募集も常時受け付けさせていただきます。

■ 本件のお問い合わせ先

日本ホッケー協会 強化育成本部 厚川 俊也
atsukawa@japan-hockey.org